

「漁業」	単 位 数	2 単 位
	学科・学年・学級	海技士（航海）類型 第3学年A組

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	漁業に関する知識と技術を習得させ、資源管理について理解を深めさせるとともに、生産性の向上を図る能力と態度を育てる。
使用教科書・副教材等	漁業（文部科学省）

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	備 考 (学習活動の特記事項、他教科との関連など)	考 査 範 囲
第1期	漁業と水産生物 漁業の意義と沿革 海洋環境と生物生産 漁場と漁場調査 海的环境保全	4 5 6 7	漁業の沿革から社会的役割に至る一般的な漁業についての理解を深めさせ、漁業への興味・感心を高めさせるとともに、海の生物の生活環境の保全や海の生産性を有効に活用する基礎的な知識と技術を習得させる。	漁業実習と関連させて展開 スプライス（ワイヤー、ロープ） 植樹ボランティア参加	期末 考 査
	【課題・提出物等】 1 授業中に使用したプリント及びノート。 2 実習作品。				
【第1学期の評価方法】 定期試験50％、実習40％、学習への参加状況10％					

第2期	漁業の技術 漁具と漁法 主な漁業と資源増殖 漁具の構成と材料 漁業機械・計測機械・冷凍機械	9 10 11	魚介類の生態や行動特性に応じた漁具の展開、漁業技術や漁場の予測選定、漁業装置の機械化や計器を漁法に触れながら、漁具と漁船、漁業技術、漁獲物処理などの漁業の技術に関する基本的な知識と技術を習得させる。	漁業実習と関連させて展開 地域漁業の体験、ボランティア参加	期末 考 査
	漁業生産の基盤 漁業制度と法規 漁業をめぐる国際環境 漁業と情報	12	我が国の漁業が漁業法や漁業協同組合法等を中心とする国内の制度化された仕組みに加え、国際的な条約・協定等に基づいて営まれていることを理解させる。	編網復習 網修理基礎 網修理応用	
【課題・提出物等】 1 授業中に使用したプリント及びノート。 2 実習作品。					
【第2学期の評価方法】 定期試験50％、実習40％、学習への参加状況10％					

第 3 学 期	水産物の貿易と流通 食品管理	1	我が国の漁業が漁業法や漁業協同組合法等を中心とする国内の制度化された仕組みに加え、国際的な条約・協定等に基づいて営まれていることを理解させる。	漁業実習と関連させて展開	学年末 考査
	【課題・提出物等】 1 授業中に使用したプリント及びノート。 2 実習作品。				
	【第3学期の評価方法】 1 学期及び2学期の成績及び学年末考査の成績，プリントなどの提出物，ノートの内容，出席状況，学習活動の意欲・態度等で総合的に評価する。				
【年間の学習状況の評価方法】 「漁業」の総合的評価は，各学期の評価を総合し行う。					

確かな学力を身に付けるためのアドバイス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漁業に興味を持ち魚を獲ることの楽しみを感じ，獲るために必要な知識や技術を習得して欲しい。 ・ 漁具の作製・修理を学び，自らが漁業生産に活かせる知識や技術を身に付けて欲しい。 ・ 漁業に関連する制度・法律を理解して欲しい。 ・ 漁業資源や海洋環境の保護に努められる意志を持って欲しい。
授業を受けるに当たって守ってほしい事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実習では集合時間を守り，実習服をしっかりと着用し，事故の無い安全な実習ができるように努めること。 ・ 実習や座学においては，指導者の指示にしっかりと従うこと。

(2) 評価の観点，内容及び評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
関心・意欲・態度	漁業について関心を持ち，その知識・技術の向上に主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義，実習への参加状況及び態度 ・ 講義の中で使用する資料の利用状況
思考・判断・表現	漁業に関する諸問題の解決を目指して思考を深め，基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 発表・質疑応答 ・ 実習作品
技能	漁業に関する基礎的な技術を身に付け，漁業生産に関する諸活動を通して，その技術を適切に活用している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 実技テスト ・ 実習作品
知識・理解	漁業に関する基礎的・基本的な知識を身に付け，水産業や海洋関連産業の意義や役割を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期考査 ・ 実技テスト ・ 発表・質疑応答

3 担当者からのメッセージ

<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の漁業に興味を持ち，自らがそれらの漁業をやってみたいと思うような意欲を持って欲しい。 ・ 漁具の作製・修理を学び，漁業生産に活かせる知識や技術を身に付けて欲しい。 ・ 漁業に関する制度を理解し，漁業者としてのモラルを身に付けて欲しい。
